



未来を創る 市民生活を守る、責任ある市政を。

山崎 ともゆき

七尾市議会
3月会議報告

「子育て基金」廃止。市長に理由を質す。

45回目の一般質問。令和3年度当初予算について、市長と政策議論。

1. 「子ども・子育て基金」をなぜ廃止に？

4年間で交付率84%と高く、子育て団体からも必要とされていた「子ども・子育て基金」と「地域子育て支援事業」が新年度から廃止され、代わりに市長公約の「ふるさと創生ゆめ基金」が創設される。

「子育て事業への支援」を市長に質問するも、曖昧な答弁に終始し、「子ども達の犠牲の上で成り立つ選挙公約」と厳しく糾弾する。

廃止された「子育て基金」の復活に向けて、今後も議会で取り組みを。

2. 市長給与の見直しは行わず！

12月会議で市長が自ら答弁した「市長給与の削減」が実現されず、「4年の任期内で実現」と後退する。

議員報酬削減特例条例が成立する一方で、市長の公約実現への取り組みに大きな疑問符が。。。



「七尾市議会 YouTube」より

コロナ禍での市民負担・行政の肥大化に NO！

下水道や浄化槽の値上げする 特別会計予算や関連条例改正案と、市役所の部を「8」→「9」に増やす、部設置条例改正案が提出される。

新型コロナ感染が予断を許さず、市民生活に影響が出ている状況で、「身を切る改革」を行わない 市長の政治姿勢に議会で厳しい声が高まり、値上げ議案と部設置条例案はいずれも 反対多数で否決・廃案が決まる。

3月会議における市長提出議案の問題点と、議会・委員会での議論

疑問点	市長の提案	議会・委員会での議論
下水道基本料・使用料	今年7月から値上げ	コロナ禍により、1年間の猶予を
浄化槽基本料・使用料	今年7月から値上げ	コロナ禍により、1年間の猶予を
市役所「部」の数	「8」→「9」(1増)	「行財政改革」に逆行する
コロナの予算対応	当初予算ではなく、補正予算対応	緊急性があり、当初予算で

「街セン」の
今後を示せ

山崎智之氏(灘会) 七尾街づくりセンターは、どうなるのか。瀧菅産業部長 委託事業の終了もあり、商工会議所からは年度末で解散の方向と聞いている。山崎氏 予算案にコロナ対策が盛り込まれていない。福島健康福祉部長 3月補正では高齢者施設職員のPCR検査費を予算要求している。

令和3年(2021年)3月11日(木)
北國新聞 朝刊 29面

市民生活を守るため、提案・賛成を

65歳以上のワクチン接種が5月以降にずれ込むため、高齢者施設の利用者・職員を対象に PCR検査費用の助成を議会で提案、追加の 補正予算で計上され、成立する。

新年度予算や 副市長同意案は、所属する会派が賛成し、いずれも可決・成立する。

副議長に選出される

2月会議において、第15代副議長に選出されました。議長を補佐し、現職市議の不祥事が相次ぐ 議会の信頼回復へ、「議会の役割強化」と「責任ある市政」を目指し、引き続き議会改革を取り組んでいきます。

山崎ともゆき通信・七尾市議会 令和3年3月会議報告

発行者：山崎智之後援会「智政会」七尾市矢田新町イ部6番地67

【後援会討議資料】